

私の当院におけるNo.1

感染管理室の仕事は、病原微生物が病院内で広がることを防ぐことと、抗菌薬を適正使用することで抗菌薬が効きにくい病原微生物(耐性菌といいます)が発生しにくい環境をつくっていくことが主な仕事です。そのためには感染管理室だけが頑張っても不十分で、各診療科や看護部はもとより薬剤部、臨床検査部など複数の職種と連携していくことが大切です。

私の専門分野

私はもともと消化器外科専門医で、肝胆膵移植外科領域で学位を取得しています。消化器外科手術のなかでも感染症を中心とした合併症が多い分野であることから、2018年にインフェクションコントロールドクターの資格を取得しました。2019年に前勤務先にて感染管理室長を拝命し、新型コロナウイルス感染症の対応を行ってきた次第です。感染症専門医が在籍する病院は少なく、私のように外科医が感染管理室長を兼務している病院も多くあります。そのことは決して負の側面だけではなく、ガウンテクニックや昼夜を問わず対応できる体力など役に立てた側面もあったと自負しています。感染対策は目に見えない病原微生物を相手にしていかななくてははいけま

また、新型コロナウイルス感染症の世界的広がりは皆さんの知るところですが、感染状況は日々刻々と変化しており、その時々でさまざまな判断を迅速に行っていくことも重要です。私としては調整力と判断力を一番大切にしています。その思いで仕事をしているのですが、どうしても感染管理室長として皆さんに我慢や、無理をお願いすることがしばしばあり、叱責や不満を受ける事があります。つらい思いをすることもありますが、不思議と一晩眠ればさっぱり忘れてしまいます。その点はNo.1と言えるかもしれません。

せん。常に最新の情報を勉強しながら、決められた感染予防策を愚直に守り、複数の職種と連携し協力を得ることが感染管理の土台となります。

感染対策の仕事は病院の中に留まりません。新型コロナウイルス感染症対策では、他病院や診療所だけでなく保健所や行政との連携も重要となります。更に次のパンデミックに備えて、世界で流行しつつある新興・再興感染症についてもアンテナを張っています。病院から地域、国、世界を視野に入れた公衆衛生に関わる仕事である事が最大の魅力であると感じています。

抗菌薬の適正使用を推進する目的は、耐性菌が発生しにくい環境を整備するためであり、それは将来の世代に今ある抗菌薬を有効に受け継いでいくことにつながります。今が良ければそれで良いというわけにはいきません。時間的視野の広さも大切です。

医師ではない私の素顔



NO LEICA NO LIFE、新型コロナウイルス感染拡大第8波のただ中であって、出かけることが出来ない日々ですが、カメラが趣味です。特にライカの古いカメラにフィルムをいれて撮ることが好きです。精密な機械を触ることが好きで、子供の頃はラジコンカーや鉄道模型で遊んでいました。祖父が紡績工場の技師であったことも影響しているかもしれません。春には桜を撮りにいけたらいいなあと思っています。



読者の皆さまへ一言

新型コロナウイルス感染拡大で、地域における病院の役割がより明確になったと思います。病院は地域の皆さんの医療ニーズに応えずして、必要とされる存在にはなれないということです。現在進行形の新型コロナウイルス感染症対策はもとより、今後

のパンデミックに備えて訓練を怠らず、医療ニーズに迅速に応えられるような感染管理室にしていきたいと考えています。学生時代は6年間京大医学部ボート部に所属し瀬田川や琵琶湖漕艇場でボートを漕いでいました。現在もボート部監督として時々琵琶湖漕艇場に出向いています。楽しい学生生活を送らせてもらった湖国滋賀県に少しでも貢献できれば幸いです。

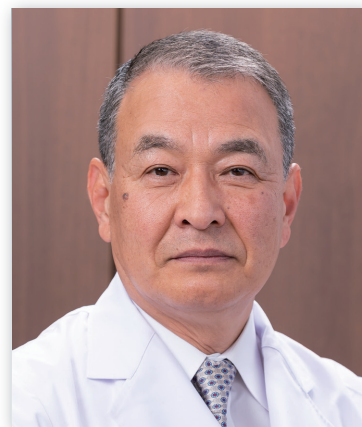
県民の皆さま、県内各医療機関の皆さま、 あけましておめでとうございます。

新年のごあいさつ

新型コロナウイルス感染症が世界に蔓延してから厳しい医療環境が続いています。コロナ禍において社会経済活動を維持しつつ人々の健康を守っていくという困難な状況ではありますが、滋賀県立総合病院におきましては、行政、医療機関、そして県民の皆さまのご理解とご協力のおかげで、一歩ずつ前進していくことができました。本年も、コロナ診療と通常の高度医療のバランスを取りながら、職員一丸となって皆さまの健康を守り抜く所存であります。

さて、本病院広報誌FACEは昨年3月に発刊し、病院長、副病院長、看護部長、事務局長など病院幹部のプロフィールや抱負を皆さまにお伝えしてまいりました。病院の現在の機能や今後の方向性について、ご理解が深まったものと考えております。

今後も幹部職員を中心に皆さまにご紹介しながら、病院を少しでも身近に感じていただけるよう努力してまいります。皆さまのご理解を賜りますようお願い申し上げます。



滋賀県立総合病院 総長・病院長

一山 智

2023年1月

滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)

〒524-8524 滋賀県守山市守山五丁目4番30号
電話077-582-5031(代表)

滋賀県立総合病院ホームページ
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/>



※本誌へのご意見やご感想等をぜひお寄せください。
FACEしがネット受付サービス
<https://tzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/8124789265493085857>



〈病気と治療の検索サイト公開!〉

症状や病名から気になる疾患の治療法などを
検索できるサイトを公開しました!
詳しくは当院ホームページをご覧ください!

せきや体の痛み、発熱などの症状から
病気や治療情報を探せる

治療情報ガイド



当院ホームページURL
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/center/news/326984.html>